

めっちゃ牧師やん!

〈評者〉 沢 知恵



いつか笑える日が来る  
我、汝らを孤児にはせず  
奥田知志著

奥田知志さんは、日本でマスクコミへの露出がもつとも多い牧師ではないでしょうか。NHKテレビ「プロフェッショナル 仕事の流儀」に二度出演したのをはじめ、何かとあの四角い顔を見かけます。かっこいいなあと思うのは、その発信力とことばのセンスです。時代の空気を的確にとらえながら、徹底して弱さをかかえる人の視点に立ち、バツサリ切ることも。奥田さんは、NPO法人抱撲、公益財団法人共生地域創造財団、ホームレス支援全国ネットワークの代表などたくさんの肩書をもつ牧師です。

二〇一一年の『もう、ひとりにはさせない——わが父の家にはすみか多し』（いのちのことば社）から九年。続編のようなかたちで出た『待望の単著です。

前半は奥田さんが出会った無数の人たちとの物語のほんの一部。東日本大震災のあと、よかれと思って支援した東

度の知的障害をもつ福田さんは、満期出所する度にただ放り出され、福祉制度の支援を受けることなく、刑務所に戻るために放火をくり返したのです。「必ず迎えに行きます」と言われ、子どものように泣いた福田さんは、約束通り奥田さんのもとへ。昨年秋の八八歳の誕生日には、教会のみなさんに《ハッピー・バースデー》で祝ってもらいました。奥田さんってすごいな。なかなかあそこまではできないよ。そんな「よきサマリア人」的な感想で終わってはいけません。なぜなら、私は奥田さんのように、社会の隅に追いやられている人たちに寄り添う活動をしている人をたくさん知っているからです。敬意を表しつつも、奥田さんが特別すごいとは思いません。むしろこれが本質であり、あたりまえではないかとさえ思うのです。いや、なかなか

北の小さな漁村で、「ありがたかったけど、重たかった」と言われ、相互支援の大切さに気づきます。「助けられた人が助ける人になれる」「助けた人が助けられる」仕組みをつくる中で、奥田さんの心に響いたことばが本書のタイトルです。そのコンセプトを自身のホームグラウンドに持ちかえり、ホームレスから立ち上がった人たちによる「生笑一座」を結成。おもに子どもたちに向けて、当事者が自分のことばで語る公演活動をしています。「助けて」と言えた日が、助かった日でした。「自己責任論が渦巻くこの時代に、そうではないよ、と。あなたは私であるよ、と。二二歳で初めて放火をして以来、のべ五十二年間を刑務所で過ごした福田久右衛門さんは、いま奥田さんのそばでやすらかに暮らしています。二〇〇六年の下関駅放火事件のあと、奥田さんとは福田さんとかかわりはじめました。軽

できないことですが。福祉事業家としての奥田さんと先に出会う人は、最後まで読んで驚くことでしょう。めっちゃ牧師やん！後半は奥田さんの信仰の叫びがづづられています。聖書のことばのひとつひとつが、奥田さんの日々の活動をリアルに支え、導いていることに圧倒されます。そして、どんなのちも引き受けるすべての人に開かれた「軒の教会」の存在にも。クリスチャンの私は自分自身の信仰と生活のあり方を問われると同時に、共同体としての教会ができることに思いをはせます。無理はしちやいけなけれど、せいっぱいがんばろう。瀬戸内海の終わりゆくハンセン病療養所の小さな教会で礼拝を守る私は、そんなふうに勇気づけられました。

(B6判・二八八頁・本体一五〇〇円＋税・いのちのことば社)

(さわ・ともえII歌手、日本基督教団岡山教会員)



[市川裕先生献呈論文集]

神教世界の中のユダヤ教

編者 柴田大輔 高井啓介  
副編者 勝又悦子 志田雅宏

●A5判上製 本体5,000円＋税

古代メソポタミアの一神教 柴田大輔 / メソポタミアのマクルー儀礼における火と水の力 細田あや子 / 「アバル・ナハラ州の総督」とアール・ヤーブドゥ共同体 高井啓介 / 魅力ある女は、名誉を掴む 自分自身に報いる者だ、友愛に富む男は 加藤久美子 / 第二神殿時代におけるガリラヤのリーダーたち 上村静 / 「民」と「自由」と「偶像崇拜」 勝又悦子 / ハイム・イブン・ムーサ「盾と槍」 志田雅宏 / 近代的ユダヤ人ステレオタイプの形成 李美奈 / ほか7篇を収録。 ISBN978-4-86376-078-3

LITHON (リトン)

〒101-0061 千代田区神田三崎町2-9-5-402  
☎ 03-3238-7678 FAX 03-3238-7638